

# 統計グラフの制作指導

岡崎市立六ッ美西部小学校 高松 順子

## 1 統計グラフ制作について

これまで勤務した小・中学校では、夏休みの自由研究課題の1つとして、希望者が統計グラフの制作に取り組んできた。毎年、参加者は全学年に及ぶので、児童生徒の発達段階や学習経験などを配慮し、希望者全体への指導や個別指導の仕方を工夫し、参加者の思いを大切にしながら、最後まで粘り強く仕上げられるように支援してきた。一度参加すると継続的に複数回作品を仕上げる子供たちも多くいたので、出品回数が増えれば作品の質の向上が見られるように助言してきた。

## 2 制作指導（六ッ美西部小学校）

### （1）校内統計グラフ説明会

6月中旬に、校内統計グラフ説明会を行う。過去の優秀作品を展示し、興味・関心や制作意欲を高めるようにし、作業内容や手順などを説明する。日や時間を代えて同じ内容の説明会を2、3回行い、児童に統計グラフの制作について広く知らせるようにしている。

- ①テーマを決める
  - ②アンケートを作ったり、本や新聞などで調べたりする
  - ③アンケートを実施・集計したり、資料を収集したりする
  - ④B4用紙に下書きをし、B2に拡大する
  - ⑤色画用紙でパーツを作り切り貼りしたり、ポスターカラー等で彩色したりして、仕上げる
- 制作作業の進み具合に合わせて、1学期中に説明会を数回行う。

### （2）指導形態の工夫

全体での説明会が済むと、個別への指導が中心になる。必要に応じて、学年別や作業の進度別にグループを編成し指導することで、児童の

制作意欲を持続し、見通しをもって取り組むことができるようにする。全体→個別と集団→全体→個別と集団…というサイクルができ上がり、個人差はあるが1学期中には希望者のほとんどが下書きを完成させることができる。

### （3）図書室の開放と相談日

夏休み中、図書室を開放し相談日を設けている。B2判の用紙を広げられる大きな机がいくつもあり、資料を詳しく調べる者、制作途中の作品を広げ相談する者、その場で制作する者など、児童の熱気があふれる場所となる。児童の多くは、上級生や友達の作業の様子や作品を間近で見て、刺激を受ける。高学年児童が低学年にアドバイスする微笑ましい光景も見られる。

作品完成までに、次の点を主なポイントとして助言している。

- ・見やすく 伝えたいことがわかるテーマ
- ・内容にふさわしいグラフの選定
- ・正確な整理とグラフ化
- ・工夫されたレイアウト

## 4 成果（2校 計10年間）

金賞7点 銀賞14点 銅賞8点



今後、子供たちが、統計グラフの作成を通して、日常生活の中の統計の大切さや有用性に気づくことができるようにしていきたい。